



経済学部・星野広和学部長は「高等教育機関の社会的責任を果たしたい」と抱負を話す。令和2年度から経済学科と経営学科の2学科体制となり、カリキュラムも刷新した。学生のアウトプット力を強化することに力点を置く。

学生や保護者の満足度を高めることも重点課題に位置付け「在学中という短期的視点だけではなく、卒業後に社会で活躍できること、幸福な人生を歩むことができるよう長期的視野で考えたい」と語る。また、大学の役割として、主体的に学ぶ学生の育成、輩出を挙げ、「学生に知識を教授するだけでなく、常識を疑い、検証する姿勢を涵養したい」と述べた。



国学院大学では令和3年度、文学部と経済学部の新学部長が就任した。コロナ禍で授業形態などが大きく変わる中、学部の舵取りや抱負を聞いた。

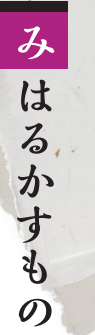
文学部は明治23年の「國學院設立趣意書」に記された「国史・国文」の研究の伝統を、現在は史学、日本文学など5学科で継承する。矢部健太郎学部長は「文学部の学びは『学問の源』といえる」と話す。

学部長就任にあたり「学生に『充実した4年間だった』と思ってもらえるようにしたい」と抱負を語る。就職については早い時期から学生に「出口」を意識してもらおう考えた。「本学の裾野を広げるためには有能な教員の輩出が必要」と述べ、文学部が牽引することと誓う。

激変の時代、
学びの
神髄を伝える

新学部長就任の抱負

4・5面に関連記事



感染力が強い新型コロナウイルス変異株への警戒が、政府や自治体から呼びかけられている。本紙では今年2月号の特集で、新型コロナウイルスの研究を続ける北里研究所の花本秀明・大村智記念研究所教授・感染制御研究センター長に話を聞いた。その中で博士は、「長期的に見ると変異するウイルスの撲滅は不可能で、共存を考えねばならない」と指摘している▼本紙が産声を上げた64年前、昭和32(1957)年5月23日の複数の一般紙をひもといてみた。1面に目立つのは、「核」の文字だ。東西冷戦の時代、米英ソなどの核実験や核開発をめぐる各国の動向、駆け引きである。21世紀の今も強国の対立は

硬式野球部 11年ぶり東都V 8面



2年続けて緊急事態宣言下の
神殿鎮座記念祭 厳粛に斎行

神殿鎮座記念祭が5月1日、渋谷キャンパス神殿で斎行された。昨年に続き2年続けて緊急事態宣言下の斎行となった祭典は、斎主の茂木貞純神職奉斎員(神道文化学部教授)をはじめ職員らが奉仕した。学生による神楽舞の奉仕は昨年に続き見送られた。また新型コロナウイルスの感染防止のため、佐柳正三理事長、針本正行学長など一部の役教職員のみで参列に限り、座席の間隔をあけるなどの対策を行った。

国学院大学神殿は昭和5年に渋谷キャンパス内に鎮座され、今年で鎮座91年となる。祝詞奏上では、本法人の発展を祈念するとともに、コロナ禍の早期収束を祈念した。

佐柳理事長は祭典終了にあたり、ご鎮座以来の神殿の歴史に触れ「神殿が開かれた都市型大学にあっても、今後も私たちとともにずっとあることを願っている」と参列者に挨拶した。

これまでの研究の成果は「古事記ビューアー」やデータベースとして古事記学センターホームページで引き続き閲覧できる

国学院大学 古事記学センター

Language
 お問い合わせ
 検索
 国学院大学
 SNS

古事記学センターについて

古事記について

古事記ビューアー

成果公開

古事記研究データ

トップページ

天地初発

古事記の最新のテキストを見ることができます。諸分野の学知を集めた注釈・補注解説とともに古事記の世界へ分け入ってみましょう。

目次を開く ▼

訓読文	校訂本文	現代語訳	訓釈（注釈）	英語	English(annotated)
あめつちはじ 天 地 初めて発りし時に、			○天地初発之時 『古事記』神話冒頭の表現。「初発」については訓義が定まっていない。 ▶【補注一】創世神話のタイプと日本神話		

研究ブランディング事業が終了

『古事記』研究の成果発信に足跡

文部科学省の平成28年度「私立大学研究ブランディング事業」に選定され、5年間にわたって進めてきた『古事記学』の推進拠点形成―世界と次世代に語り継ぐ『古事記』の先端的研究・教育・発信―が節目を迎えた。

本事業は、平成25年度後期に『古事記』の学際的・国際的研究」と銘打って開始。27年度からは『古事記学』の構築」として研究事業が行われてきた。日本文化の根本を理解するカギとなる『古事記』について、国学以来の研究成果を踏まえた上で、学際的・国際的視点から検討し、本学独自の「古事記学」の構築を目指した。

ブランディング事業の選定を受け、29年度には「古事記学センター」を設立。谷口雅博センター長（文学部教授）の下、『古事記』の学際的な注釈、多言語対応などの研究が進められ、その成果は教育、発信に関わる事業へ還元された。また、同センターホームページ内の「古事記ビューアー」をはじめとするデータベース、国際シンポジウム、ワークショップなどで国際的に発信されている。

平成29年度から実施されてきた高校生や大学生を対象にした「古事記アートコンテスト」や、本学共通教育科目「国学院の学び（古事記を諸分野から読む）」の開講では、若い世代へ向けても日本神話の世界を発信した。特にアートコンテストには、4回の開催に合わせて1300を超える作品が全国から寄せられた。厳正な審査によって選ばれた受賞作品は、本学博物館をはじめ全国各地で巡回展示が行われ、事業の一端が広く社会に還元された。

今年3月には小学生向けにわかりやすく『古事記』の神話を再話した『こんなにおもしろい日本の神話（全3巻）』（汐文社）を刊行。同書を執筆し、ブランディング事業の実務を担当した渡邊卓研究開発推進機構准教授は「本事業を通じ、『古事記』研究の世界的な拠点として本学が世界に認知されるよう事業を推進してきた。この5年間の活動によって、その目的をある程度達成することができたが、今後も世界的な研究拠点として国学の学風を継承した『古典』研究を蓄積し、本学の使命を果たしていきたい」と話す。

また、谷口センター長は事業報告書の中で「これからも国学院大学の知を集結させる形で、古事記を中心とした国学院の古典研究を押し進めていかなければならない」とし「次の世代の方々が、国学院大学のブランド力をさらに継承・発展させてくれることを確信しています」と結んでいる。なお、古事記学センターは3月をもって役目を終えたが、今年度から研究開発推進センターの下「神道と日本文化の創造的『古典学』―令和の新しい国学研究―基盤整備事業」が新たなスタートを切った。

3法人と包括的連携協定を締結

学校法人国学院大学は4月、学校法人横浜学院（金子大理理事長）、学校法人八千代松陰学園（竹川威理理事長）、学校法人霞ヶ浦高等学校（浅田順理理事長）とそれぞれ包括的連携に関する基本協定を締結した。今回締結した協定は、いづれも法人間の連携協力によって双方の発展に寄与することを目的としている。調印式は渋谷キャンパスで行われ、本法人からは佐柳正三理事長、各写真左、針本正行学長らが出席した。協定を締結した3法人の概要と締結日は次の通り。

学校法人横浜学院 横浜市中区に横浜女学院中学校・高等学校と横浜学院幼稚園を設置している。中学校高校の生徒数は約750人。4月6日締結。

学校法人八千代松陰学園 千葉県八千代市に八千代松陰中学校・高等学校を設置している。生徒数は約1800人。4月15日締結。

学校法人霞ヶ浦高等学校 茨城県阿見町に霞ヶ浦高等学校、同附属中学校を設置している。生徒数は約1600人。4月20日締結。



学校法人霞ヶ浦高等学校・浅田理事長と



学校法人八千代松陰学園・竹川理事長と



学校法人横浜学院・金子理事長と

3回目の緊急事態宣言 授業は原則遠隔実施へ

国学院大学は、新型コロナウイルスの感染再拡大を受け5月1日、3日から29日まで授業形態を原則遠隔授業へ変更することを決めた。4月25日に東京都をはじめ近畿圏に3回目の緊急事態宣言が発令される中、新型コロナウイルスの変異株が急速に拡大している社会情勢を考慮した。

4月7日に始まった今年度の前期授業では、1日あたりの通学者数を調整するなど感染予防対策を講じて、対面、ハイブリッド（対面と遠隔の同時併用）、オンデマンドを組み合わせた授業実施形態としていた。

課外活動は、東京都、神奈川県からの要請を受け、活動自粛を呼びかけている。国学院大学博物館では学生などの利用を主な目的とした開館に変更。若木21の改修工事が終わったたまプラーザキャンパスでは、学食「ヒルトップ」が6日に予定していたリニューアルオープンを延期した。



法人ホームページを開設

学校法人国学院大学は3月、事業計画や活動をステークホルダーと共有するホームページ（<https://all-kokugakuin.jp>）を新たに公開した。

同ホームページでは事業計画書、事業報告書、財務情報、役員一覧などを公開。「法人からのお知らせ」や大学をはじめとする6つの設置校の取り組みを紹介する「設置校News」を随時更新している。QRコードから閲覧可能。



阪本是丸名誉教授 逝去

阪本是丸名誉教授・法人特別参事が4月18日に逝去。71歳。葬儀は、近親者により執り行われた。

阪本氏は昭和25年生まれ。52年国学院大学文学部卒業、54年同大学院文学研究科修士課程修了。神社新報社勤務を経て56年国学院大学文学部助教授。平成5年同教授、14年神道文化学部教授、27年同教授（特別専任）、令和2年定年退職、名誉教授。在職中は副学長、研究開発推進機構長などを歴任した。学外活動では神社本庁教学委員、神社新報社論説委員長。

専門は近代神道史、国学。博士（神道学）。著書に『国家神道形成過程の研究』（岩波書店）、『近代の神道と社会』（弘文堂）など多数。

障がい学生支援 新制度がスタート

教育開発推進機構学修支援センターでは、障がい学生支援の一環として、聴覚に障がいのある学生の情報保障である「ノートテイク支援」を行ってきたが、より幅広く障がい学生のサポートしようと「学生サポーター制度」を今年度から新たにスタートさせた。

新しい制度では、授業のノートテイクをはじめ講義で使用する視聴覚映像の文字起こしや車いすを使用する学生の移動の補助など、障がい学生のニーズにきめ細かく対応していく。

4月9日までの募集期間を終え、現在約20人の学生が登録を済ませた。現在の活動は、対面授業のノートテイクとオンデマンド配信で行われる授業の文字起こしだ。オンデマンド授業の文字起こしは、週7コマ分の動画を学生たちが交代で作業に当たっている。専用のアプリで映像から抽出された文字情報を、映像を確認しながら校正する。4月から初めてノートテイクと文字起こしに挑戦している文学部3年の女子学生は「2年生の時に受講した手話についての授業で、ノートテイクを知ったのがきっかけで参加した。自分自身の専門とは異なる授業では作業に時間がかかるが、時には教科書を確認して正確で分かりやすい字幕を作っている」と話す。

4月21日にはノートテイクの研修会が行われ、聴覚障がいと情報保障について理解を深め、パソコンノートテイクの練習を行った＝写真。



若木育成会 新会長に森氏 本部総会は2年連続中止

在学生の保護者らで組織される若木育成会（堀江久教会長）は4月17日、渋谷キャンパスで本部役員会を開催した＝写真。会議では本部役員の紹介に続き、令和2年度の事業報告、決算、3年度の事業計画案と予算案などが審議・承認された。3年度の役員候補者選出では、会長候補者に森伸一氏（新任）、副会長候補者に増田久美子氏（再任）、藏重命弘氏（新任）、会計監査に有賀洋氏（再任）、清野美保子氏（新任）、田中太氏（同）をそれぞれ選出した。

本部総会は5月8日に開催が予定されていたが、緊急事態宣言の発令と、それに伴う大学の対応を受けて中止を決めた。そのため、同会規約にのっとり本部役員会での議決をもって会務を処理することとし、会長および副会長候補者がそれぞれ会長、副会長に就任することが決定した。



令和2年度指定寄付者一覧（敬称略）

令和2年10月1日～令和3年3月31日（単位：円）

寄付者	寄付目的	寄付金額	寄付月日
新井 さきほ 宗教法人乃木神社 代表役員 加藤 司郎	学生・生徒等の奨学基金	50,000	令和2年10月12日
	教育・研究振興支援（研究開発推進センターが実施する乃木神社に関する研究の支援）	600,000	令和2年10月12日
	学生・生徒等の奨学基金	50,000	令和2年10月15日
	学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部）	50,000	令和2年11月30日
	池田 昌弘	5,000	令和2年10月30日
	小玉 圭一郎	10,000	令和2年10月30日
	寺門 裕	5,000	令和2年10月30日
	深田 将弘	10,000	令和2年10月30日
	堀口 知之	500	令和2年10月30日
	教育・研究振興支援	3,000	令和2年10月30日
市川 博之	学生・生徒等の奨学基金	3,000	令和2年11月30日
		3,000	令和2年12月30日
		3,000	令和3年1月29日
		3,000	令和3年2月26日
		3,000	令和3年3月31日
		1,000	令和2年10月30日
		1,000	令和2年11月30日
		1,000	令和2年12月30日
		1,000	令和3年1月29日
		1,000	令和3年2月26日
關橋 淳	学生・生徒等の活動支援（硬式野球部）	1,000	令和3年3月31日
		2,000	令和2年10月30日
		2,000	令和2年11月30日
		2,000	令和2年12月30日
		2,000	令和3年1月29日
		2,000	令和3年2月26日
		2,000	令和3年3月31日
		10,000	令和2年10月30日
		50,000	令和3年4月15日
		194,332	令和2年11月9日
一般財団法人国学院大学院友会 会長 吉田 茂穂	教育・研究振興支援（母校所蔵貴重資料デジタル化）	100,000	令和2年11月13日
	学生・生徒等の奨学基金	50,000	令和3年3月19日
		50,000	令和3年3月19日
	学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部）	10,000	令和2年11月16日
	匿名	50,000	令和2年11月16日
	神谷 晴江	20,000	令和2年11月16日
	木全 草人	10,000	令和2年11月16日
	杉山 和敬	10,000	令和2年11月16日
	大澤 光広	10,000	令和2年11月16日
	吉村 治	10,000	令和2年11月16日
岡崎 裕子 渡邊 一彦 国学院大学専任教職員会 原 道枝 高橋 一行	学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部）	100,000	令和2年12月9日
	施設・設備充実支援	50,000	令和2年12月15日
	学生・生徒等の奨学基金（緊急修学支援）	5,269,610	令和2年12月22日
	教育・研究振興支援	100,000	令和2年12月23日
	施設・設備充実支援（校地拡充）	50,000	令和2年12月24日
	株式会社KOJIMA SPORTS 代表取締役 小島 光顕	240,000	令和2年12月25日
	施設・設備充実支援（相模原グラウンド修繕費用）		
	学生・生徒等の奨学基金	500,000	令和2年12月28日
	清水 一	30,000	令和3年1月15日
	浅井 隆市	10,000	令和3年1月15日
松井 秀彦 鑑 和夫 上林 奈央 峯村 一幸 山田 修 株式会社アルク 代表取締役 實川 利光 相模原市大野台ソフトボール部 有志代表 佐藤 忠司	学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部）	10,000	令和3年1月15日
	教育・研究振興支援	5,000	令和3年1月15日
	学生・生徒等の活動支援（陸上競技部）	5,000	令和3年1月29日
	学生・生徒等の活動支援（陸上競技部）	5,000	令和3年1月29日
	学生・生徒等の活動支援（陸上競技部）	10,000	令和3年1月29日
	学生・生徒等の活動支援（国学院大学久我山高等学校陸上競技部）	5,000	令和3年1月29日
	学生・生徒等の奨学基金	60,000	令和3年2月19日
	施設・設備充実支援	12,000	令和3年2月22日
	教育・研究振興支援（考古学研究室支援）	100,000	令和3年3月17日
	学生・生徒等の活動支援（卒業記念）	30,000	令和3年3月18日
国学院大学院友会経済会 会長 大塚 勤 国学院大学院友会神職会 会長 松山 文彦 山田 尚宏 東京都神社庁 庁長 小野 貴嗣 株式会社エデュース 代表取締役 松本 雄一郎 松井建設株式会社 代表取締役 松井 隆弘 近藤 篤	教育・研究振興支援（ライシャワー研究所留学奨学資金、研究開発推進センター学術研究資金、神道文化学部活動支援資金）	6,500,000	令和3年3月19日
	学生・生徒等の奨学基金	200,000	令和3年3月19日
	施設・設備充実支援（令和2年度神職養成の事務機器等購入費）	350,000	令和3年3月19日
	学生・生徒等の奨学基金	1,300,000	令和3年3月26日
	学生・生徒等の活動支援	20,000,000	令和3年3月30日
	学生・生徒等の奨学基金	10,000	令和3年3月31日



経済学部 星野広和学部長

学科再編で、
実践と創造力を育成
高等教育機関の
社会的責任果たす

ほしの・ひろかず 博士（経営学） 専門は経営管理論、経営組織論、経営戦略論。企業経営と品質管理に関する理論的・実証的研究を行う。趣味は料理。「何を作りたいかイメージして食材を調達、調理する過程は、研究や論文作成に似ている」



文学部 矢部健太郎学部長

国学院の学統を
継承し、
客観的論証
目指せ

やべ・けんたろう 博士（歴史学） 専門は室町・戦国・織豊期の政治史・公武関係史。豊臣政権を中心に研究を続ける。本学在学中は剣道部に所属。段位は五段。「息子の応援が趣味の一つ」と話し「ステイホーム中は一緒に流行のゲームに挑戦しました」。

環境変化に直面して

文学部の学びの成果は、誰もが人間形成の過程で触れる昔話やおとぎ話の研究や創作に象徴される。よりよく生きることが教える昔話は人類の根本課題を探究する哲学に通じ、その歴史は古代に遡るので文学部の学びは「学問の源」といえる。コロナ禍や東日本大震災のような非常時には現場に立って無力感が募るが、人々の精神的な支えとなるのも、言語、文学や歴史、芸術など文学部の学びの成果であることは確かだ。

「文学部不要論」がいわれるが、学問とは学びたい人が学ぶものなので、科学立国や就職に役立たないから不要というのは筋が違う。文学部の学びの神髄は、主観を排除した客観的な論証を目指すところにある。データと根拠の積み重ねによって、誰もが納得できる論を展開するのだ。

ある事柄を人に納得させようとしても、独り善がりな考え方で突っ込まれるが、きちんとしたデータや根拠を用意すれば将来まで見通せる。大学での4年間で、言葉によって自分の考えを具現化するスキルやデータを集めて結論を導き出すプロセスを身につければ、現代社会にあふれている情報の中から何が正しいか選別して真実に近づき、問題を解決することが出来る。

コロナ禍での遠隔授業は反応を感じ取れないラジオ放送のようだが、できるだけ対面授業と同じことをやろうと心がけている。パソコンの画面を通してできることもあると思う、古文書の折り方を取り上げてみた。大きな教室だと手元まで見えないが、文書を折りたたんで封をする手元の様子を映し出したら「よく分かる」と好評だ。限ら

経済学部の特徴

経済学部は令和2年度から経済学科と経営学科の2学科へ移行した。新体制に伴い、カリキュラムも刷新した。新たな経済学部教育理念は「多文化し、グローバル化の進展する社会の中で、経済学の基礎力と日本経済に関する知見を兼ね備え、実践的で創造的な対応力を身につけた、社会に貢献できる専門的教養人を育成すること」である。

この理念を達成するために次の3つを重視している①経済学、経営学について基礎的な考え方や概念、知識を早い段階で教育する②基礎教育はできるだけ少人数クラスで教員が学生と身近に接しながら教育する③本学の建学の精神にも繋がるが、「日本」を意識した教育を行うことである。

経済学部の特色は、少人数教育で学生との距離が近く、きめ細かな教育指導ができること。初年次教育の基礎演習や必修科目の英語は、1クラス20数人、ゼミナールは十数人程度だ。

学生が学修した成果を発表し、教える合う場も設けている。学部共通科目である「日本の経済」ではグループワークを通し、学んだ内容について学生同士が意見を交わし、インプットの質を高めている。このほか平成30年からゼミ成果発表会を開催し、広くアウトプットする場を設けている。

昨年はコロナ禍でオンライン授業が広がった。オンライン授業は機材の準備や操作への慣れなど大変な面もある一方、大教室で声が聞き取れないといった課題が解消されるメリットもある。今年度はオンラインと対面の両輪で、新しい学びの場をつくりたい。

経済学部長としての舵取り

学部学科改組で新たな教育理念・目標を立てたので、その具現化のための教育

れた環境の特性を生かす方法を模索することも教員の務めなのだと実感した。

現状と舵取り

明治23年の国学院設立時の趣意書に示される「国史・国文」の講究を、現在は史学・日本文学など5学科で継承している。少人数の中国文学科は指導が充実し、外国語文化学科も文化まで広げた外国語教育に力を入れている。人間の根源的課題を探究するのが哲学科だ。

教員には本学出身者も多いが、その割合は高すぎない。学統を守るため内部で研究者を育てつつ、外から優れた人々を招いて新たな学問の在り方を探っている。

学部の舵取りとしては、学生に「充実した4年間だった」と思ってもらえるようにしたい。さらに、本学の裾野を広げるためには有能な中高教員の輩出が必要なので、フラッグシップとしての文学部が頑張らなければならない。就職については学生に早い時期から出口を考えさせたい。文章表現など文学部ならではの指導もできるだろう。客観的な論証と表現力が体得できる文学部の学びは、学生時代の何倍も続く社会人としての時間でも、大いに役立つと自負している。

優れた人材を育てるには、大学院に魅力がなければだめだ。大学院生をしっかりと教育すること、大学院生がしっかりと後輩である学部生を指導することが学統の学統たる由縁。引用に値する先輩方の研究が数多く発表され続けていることこそが、文学部の学統の重みであると気づかせたい。（談）

実践における行動目標を立てたい。

学部学科改組により、学士課程教育の3つのポリシー、特に卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー、DP）も変更した。学部のDPだけではなく、両学科のDPとともにICTを活用した情報収集と処理、データを用いた論理的思考や意見の表明、といった知識や思考力などを兼ね備えた人材の育成と輩出を謳っている。新たな教育実践の行動目標には高等教育を取り巻く環境の変化、すなわち現代社会、経済、技術の変化に対応したものが求められる。

もう一つの課題はアウトプットの強化に向けた取り組みだ。新カリキュラムでは卒業論文（卒業リポート）を必修化することで、教育の質的保証としてアウトプットにより力点を置いた。アウトプット強化のためには、卒業論文の執筆に不可欠なインプット、スルーの引き上げも必要だ。

学部長としての抱負

高等教育機関としての社会的責任を果たしたい。まず学生や保護者の満足度を高めたい。在学中という短期的な視点だけではなく、卒業後に社会で活躍できることや素晴らしい人生を歩むことができる長期的な視野で考えたい。

教員の満足度の向上も不可欠だ。研究と教育の両立、研究時間の確保などを図ることが、結果として学生満足度の向上にもつながる。

少子化や大学進学率の高止まりで、大学間の競争はより激しくなるだろう。大学が社会に対してどれだけ有用な人材を育成し、輩出できるかが問われる。大学の役割は、学生に対して正しい知識（真理）を教授するだけでなく、常識を疑う姿勢や態度を涵養し、常識を良識に変える主体的な学びを持った学生を育成、輩出することに尽きる。（談）

特集

新学部長に聞く

faculty of letters
&
faculty of economics

インフォダイジェスト

... 在学生
 ... 保護者
 ... 卒業生
 ... 一般
 ... 受験生
 内容
 日にち
 時間
 場所
 対象
 申し込み
 料金
 問い合わせ

大学からのお知らせ

「指定寄付金」ご協力のお願い

内学校法人国学院大学では、私学としての公共性と独自性のある教育研究体制を確立するため、広く寄付を募っています。寄付の種類は、「学生・生徒等の奨学基金」「学生・生徒等の活動支援」「教育・研究振興支援」「施設・設備充実支援」の4つに加え、学生の課外活動を支援するための「課外活動支援（スポーツ強化部会など）」や「メッセージ募金」を設けています。「メッセージ募金」は、スポーツ

活動や課外活動などに熱心に取り組む学生に向けて、HP上からメッセージを直接投稿してもらう仕組み。ワンコイン（500円）から寄付が可能で、メッセージはそのまま専用HPに公開されます（匿名可）。

申専用紙またはインターネットでのクレジットカード決済（VISA、Mastercardの2種類）が可能です。

問総務課（☎03・5466・0111）

※ 本法人への指定寄付金は税制上の優遇措置を受けることができます。募金に関する情報は専用HP（<http://kifu.kokugakuin.ac.jp>）で閲覧できます

キャリアサポート

※詳細確認・申し込みはK-SMAPYⅡから行って下さい

インターンシップ対策講座④面接実践練習会

内インターンシップ選考前に面接を体験しておこう！ 本講座は面接を行い、自分の良かった点や改善点をフィードバックするものです。インターンシップ対策講座③「グループディスカッション&面接対策講座」との2回完結の講座のため、両方とも参加するようにしてください。
 ※オンライン配信

日・時 6月9日(水)・10日(木)16:00～18:00

イベント

30

オンライン生きがい講座「スポーツが上手くなる心理学」



内長時間の練習、みんなと同じ練習、ガムシャラ練習など、練習のやり方が実は上達を妨げているかもしれません。スポーツ科学の理論を利用して、できる限り報われる努力をしていきましょう！

今回は特に「上達のメカニズム」と「やる気の維持の方法」について解説します。スポーツをやっている皆さん、スポーツを指導している皆さん、お子さんがスポーツをやっているお父さんお母さん、必見です！ 講師は伊藤英之人間開発学部准教授。ビデオ会議システム「Zoom（ズーム）」で実施。

日・時 6月12日(土)10:00～11:00

対中学生以上

定100組（要申込、開催前日18:00まで可、先着順）

申次の①、②のいずれかで申し込みを

①大学HP（QRコード）にある申込フォームから

②申込者氏名（ふりがな）、年齢、性別、住所、電話番号、アドレスをFAX（☎045・910・3754）で送信



料無料

問人間開発学部 地域ヘルスプロモーションセンター

新型コロナ関連のお知らせ

対面授業受講上の留意事項

内キャンパス内での集団感染を防ぐため、次の留意事項に基づいて対面授業を受講してください。

●基本的な留意事項

- ◇継続的に手洗い、咳エチケットの徹底を
- ◇手洗い「3密」を避ける取り組みを
- ◇免疫力を高める十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事を

●具体的な留意事項

- ◇毎朝検温をし、「検温表」へ必要事項の記入を
- ◇発熱や咳などの風邪症状がみられる場合、同居する家族、身近な知人に感染が疑われる場合は登校を控え、授業は欠席を
- ◇授業開始時に担当教員から求められた場合、『検温表』への記入を

「3密」を避けよう



密閉空間



密接場面



密集場所

- ◇大学構内では必ずマスクの着用を
- ◇入退館、入退室時には手指消毒の徹底を
- ◇体温調節ができる服装で来校を
- ◇教室では着席不可の席には座らない

感染が疑われたら保健室に連絡を

内新型コロナウイルス感染症と診断された方、疑いがあると言われた方は、必ず保健室にメールか電話で連絡をしてください。

▶保健室アドレス☎hoken@kokugakuin.ac.jp

▶渋谷TEL（平日・土曜9時～16時30分）

☎03・5466・0148

▶たまプラーザTEL（平日・土曜9時～16時）

☎045・904・7660

咳エチケット



マスクがあれば正しく着用する



ハンカチやティッシュペーパーで口と鼻を覆う



服の袖や肘の内側で口と鼻を覆う

殻をつつく「啐」の音を聞いてますか？



名誉教授 新富 康央

しんとみ・やすひさ
 学校法人国学院大学特別参事。
 人間開発学部初代学部長、専門
 は教育社会学、人間発達学。新しい
 時代の子育て論には定評。

学生たちは今年も、遠隔授業を余儀なくされています。でも、学生たちは元気に頑張っています。入学後、学習意欲を喪失するなどの「五月病」は、あまり見当たりません。コロナ禍の今こそ、本学の教育指針であり、わが国の子育て論である『古事記』の「国生み」を基底とする「修理固成」の子育て法が生きてきます。

「啐啄同時」です。春は、雛が卵から孵る孵化の季節です。孵化から子育てのヒントをもらうことができます。以下は、私の友人が語る小学6年時に叱られた時の思い出です。その日は、児童会の地区子供会によるソフトボール大会が予定されていました。しかし、朝から小雨交じりののはっきりしない天気。児童会役員でも選手でもない彼は、児童会会長をしている友達のことを思いながら、「今頃、困っているだろうな」と、他人事のように呟きました。その時です。いきなり父親の雷が落ちました。

「バカやろう。友が困っている時に一肌でも二肌でも脱ぎようというのが、真の友達ではないか」

父親の一喝は、彼にはうれしい言葉でした。実は、彼も心の片隅では、友達のために何かしてやらなければならぬのでは、と漠然と思っていたからです。一押ししてほしいと思う彼の気持ちと、父親の叱るタイミングが、ぴたりと合ったのです。

「人が困っている時には、一肌でも二肌でも脱ぐ」。この言葉が、彼の人生訓になりました。父親の一喝は、これまでも違う社会を見る目を開かせてくれたのです。

卵から雛が孵るタイミングを見計らって、親鳥は卵をクチバシで突いて雛が孵るのを手助けします（啐啄の機）。

「啐啄同時」の「啐」は鶏の卵が孵る時、殻の中で雛が突く音、「啄」は母鶏が殻を外から突き破る音です。つまり、「啐啄同時」とは、雛と母鶏との、両者のはたらきが合





情報をお寄せください

「部員の人数が足りず、団体戦に参加できない」「人数がそろわなくて演奏ができない」など少人数で困難を抱えながら活動が続ける大学公認部会の情報をお寄せください。今後不定期連載で紹介していきます（紙面の都合などにより紹介できない場合があります）。

【問】広報課 (☎kouho@kokugakuin.ac.jp)

フェンシング部

新戦力加え、目指す団体戦勝利



フェンシング部

通常時の練習は、渋谷・たまプラーザ両キャンパスで週5日。土曜日には指導者や卒業生も集まる。全日本選手権出場経験のある指導者をはじめ卒業生にはフェンシング界の重鎮が多い。現在関東の大学が加盟する連盟で3部に所属。

「フェンシング」と聞いて、中世ヨーロッパの騎士たちの剣術を起源とするスポーツということを知っている人は多いかもしれない。日本フェンシング協会によると国内の競技人口は平成30年時点で6千人ほど。国学院大学でも昭和31年創部のフェンシング部が部員4人と苦境に立たされている。

小学校からフェンシングを続ける津田定慶主将（神文4）は、一昨年の大学生の大会で準優勝に輝いた実力者。「フェンシングにはフルーレ、エペ、サーブルの3つの種目があるが、人数が少ないとすべての種目をカバーできない」と話す。高校で競技を始めた馬場汰夏良選手（法3）は「昨年一昨年も（卒業した先輩を含めた）3人で頑張ってきた。昨年は入部者がゼロ。団体戦は補欠を含めて4人の選手がそろわないと出場できない。けがをしてしまうとチームが出場できなくなる」と危機感を口にする。

チームの目標は、関東学生フェンシング選手権大会を勝ち抜き、全国大会への出場だ。「団体戦で勝てるチームを作りたい」（津田主将）と、この春にチームに加わった1年生1人、2年生1人との練習にも力が入る。

フェンシングは、精密な技の応酬と瞬時の駆け引きが魅力といわれる。「人それぞれ戦い方や強みが違う。感情の駆け引き、だまし合いが醍醐味」と津田主将は話す。そうした競技の奥深さを「一度体験してくれると楽しいと思ってもらえる」と馬場選手。男女を問わず新戦力を募っている。



地震発生は国学院大学を卒業して東京大神宮に出仕として奉職した直後。当社でも鳥居と社務所などが被災した。病に倒れた父の後を継いで12月に宮司となったが大学を出たばかりの未熟者には荷が重く、直後にお正月、2月には初午大祭と当社の2大行事もあって苦労の連続だった。文

化財調査などもあって社務所再建まで2年半を費やしたが、摂末社の修復が完了するまで復興は続く。5年間で一番の記憶は最初の初午大祭。当社の神職・職員や崇敬団体の「福男・福娘の会」に支えられて乗り切った。崇敬団体の人は地元の先輩で人生経験も豊富。そこか

ら得られる話は勉強になる。新型コロナウイルス禍に直面しても神社のお勤めを続けねばならない半面、神社からクラスター（集団感染）を出すわけにはいかない。熊本市の中心部に鎮座する当社には繁華街関係者や観光客の参拝が多い。今年の初午大祭では行政の自粛要請で20時に店を終えてから参拝できるように、縁起物の頒布を21時に前倒し、行列や会話を避けるため頒布の方法も工夫した。「密はダメ」というご時世だが、崇敬団体の役員と慎重に議論

先輩に「恵く」周囲の支えあってこそ「心の復興」模索の5年

熊本城稲荷神社宮司 本田伊熙さん（平28卒・124期神文）

熊本地震から5年が経過した。国学院大学卒業後、半年余りで熊本城稲荷神社宮司に就任した本田伊熙さん（平28卒・124期神文）に、悩める人の拠り所である神社を拠点とした「心の復興」を模索した5年の奮闘を振り返ってもらった。

新型コロナウイルス禍に直面しても神社のお勤めを続けねばならない半面、神社からクラスター（集団感染）を出すわけにはいかない。熊本市の中心部に鎮座する当社には繁華街関係者や観光客の参拝が多い。今年の初午大祭では行政の自粛要請で20時に店を終えてから参拝できるように、縁起物の頒布を21時に前倒し、行列や会話を避けるため頒布の方法も工夫した。「密はダメ」というご時世だが、崇敬団体の役員と慎重に議論



地震で大きな被害を受けた境内(本人提供)

ほんだ・いき

熊本県熊本市出身、実家は熊本城稲荷神社の社家。平成28年国学院大学神道文化学部卒業。東京大神宮に奉職したが、父で前宮司の光曠さんが同年11月に急死したため、翌月に宮司を継承。

▶熊本城稲荷神社（熊本市中央区）

天正16（1588）年、加藤清正が肥後（現在の熊本県）へ入国した際に稲荷神を勧請して創建。主祭神は倉稲魂命で、白髭大明神、緋衣大明神ほかも祀る。「白髭さん」として親しまれ、毎年2月最初の午の日に斎行される初午大祭が知られる。

父からは「神社は人が心の苦しみを和らげるために来るところ。汚い神社にしていはいけない」と教えられたので、参拝者には晴れやかな気持ちで帰ってもらえるようお勤めを続けている。

父からは「神社は人が心の苦しみを和らげるために来るところ。汚い神社にしていはいけない」と教えられたので、参拝者には晴れやかな気持ちで帰ってもらえるようお勤めを続けている。生は「自分で何でもできる」と勘違いしがちだが、周囲の助けが「一番力になる」と伝えた。

K:DNA——創立139年目を迎えた国学院大学の**遺伝子**…個人・個性を尊重する校風 若いエネルギーが未来を変える

硬式野球部

東都大学野球 11年ぶり2度目の優勝



優勝の瞬間、グラウンドに駆け出し喜ぶ選手たち

神宮球場が11年ぶりの歓喜に沸いた。国学院大学硬式野球部は東都大学野球春季1部リーグ戦最終週、同率1位の中央大学との直接対決を連勝で制し、通算10勝2敗（勝率8割3分3厘）で平成22年秋季以来、11年ぶり2度目の優勝を果たした。

同部は、2勝2敗で迎えた第4週から青山学院大学、東洋大学、立正大学に6連勝。8勝2敗で5月10日、14日に同率1位の中央大学との直接対決に臨んだ。1回戦では、中盤までに山本ダンテ武蔵選手（経4）の2点本塁打などで5点を挙げたが、終盤に追いつかれ延長タイブレークに。十回表、1死一・三星から5番に座る福永奨主将（健体4）が左中間へ決勝適時二塁打を放ち、6－5で優勝に王手をかけた。

今季最終戦は、約3週間ぶりにスタンドに観客を入れて行われた。一回裏に2番・川村啓真選手（経4）のソロ本塁打で先制。その後、逆転され1－2となって迎えた八回裏、四球と敵失、安打で無死満塁とすると、押し出し四球で同点に追いついた。さらに4番・瀬戸成一郎選手（日文4）、5番・福永選手が連続犠飛で2点を勝ち越し逆転に成功した。

投げては、四回から2番手としてマウンドに上がった楠茂将太投手（法3）が5回を失策による1失点でまとめると、九回は今季4勝の池内瞭馬投手（経ネ4）が3者凡退で退け優勝を決めた。

6月7日から神宮球場と東京ドームで行われる第70回全日本大学野球選手権記念大会に東都代表として初出場する。

個人表彰では、全試合で3番に座った山本選手が本塁打と打点でリーグトップとなり最高殊勲選手に選ばれた。池内投手が最優秀投手と最優秀防御率

（防御率1.43）の2冠。最終戦で2安打を放った川村選手は打率4割1分7厘で首位打者に輝いた。ベストナインでは、投手に池内投手、二塁手に伊東光亮選手（経1）、外野手に川村選手、指名打者に山本選手がそれぞれ選ばれた。



投手2冠の池内投手



MVPの山本選手

「破壊力を体現」

鳥山泰孝監督

「（優勝の瞬間は）優勝まであと1勝で負けた試合、涙を流して卒業していったOBの顔が浮かんだ。テーマにしていた破壊力が体現できて、優勝に繋がった。全日本大学選手権に向けて、これから冷静に戦い方を考えたい」

「4年生がリード」

福永奨主将

「（最終戦は）自分たちの野球を今まで通りやっていこうと思って試合に入った。（追加点となる犠飛は）余裕をもって打席に入れた。今季は打点にこだわってきて、追加点を挙げられてよかった。4年生が引っ張ってくれた」

2冠「やりきった」

山本ダンテ武蔵選手

「（本塁打、打点の）2冠はやりきった結果。優勝に貢献できたことが一番うれしい。これからはぶれずに自分がやるべきことを全力でやっていきたい」

最終成績

順位	チーム	勝	負	勝率
1	国学院大	10	2	0.833
2	中央大	8	4	0.667
3	亜大	6	6	0.500
4	駒澤大	5	7	0.417
5	青学大	5	7	0.417
6	東洋大	4	8	0.333
7	立正大	4	8	0.333